

令和2年秋の外国人叙勲

ムハンマド・ビン・サーレフ・アル・サダ元エネルギー・工業大臣の旭日大綬章受章

令和2年11月3日
在カタール日本大使館

令和2年11月3日（日本時間）、日本政府は、令和2年秋の外国人叙勲受章者を発表し、この中でムハンマド・ビン・サーレフ・アル・サダ元エネルギー・工業大臣が叙勲されることが公表されました。同氏は、日本へのエネルギー供給及び日本・カタール間の関係強化に寄与した功績が認められ、本年、旭日大綬章を受章することとなりました。

- ・賞賜：旭日大綬章
- ・功績概要：日本へのエネルギー供給及び日本・カタール間の関係強化に寄与
- ・氏名：ムハンマド・ビン・サーレフ・アル・サダ (Mohammed bin Saleh Al Sada)
- ・主要経歴：元エネルギー・工業大臣
- ・現住所：カタール ドーハ市

アル・サダ氏は、日本とカタールの間の関係強化に長年貢献されてこられました。同氏はエネルギー・工業大臣時代に2011年から2018年までの長期売買契約に基づく日本へのエネルギーの安定的な供給に貢献しました。それに加えて2011年に発生した東日本大震災の際にも日本の原子力発電所が停止していた期間に400万トンの追加的な液化天然ガスの供給の実現に貢献されました。さらに、日カタール合同経済委員会カタール側議長として東日本大震災からの復興のための人道支援に関与しました。（了）